

No	事業名	事業概要	担当部局	事業年度										六つの取組の視点						進捗状況		実績	分析	決算額	実施状況、今後の方針	当初予算	担当課
				第1期					第2期					知る	育てる	伝える	創造する	活用する	支える	予定どおり進捗した	予定どおり進捗しなかった						
				R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10																
520	八雲ふれあい文化祭事業	八雲町内各種文化サークル、小中学校、幼保園、保育園等の活動や作品の展示をはじめ、発表の場をつくることにより、町民の文化意識の向上と交流を図る。	市民部	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○		・10月19日20日に展示、発表、模擬店の文化祭実施した。	サークルの活動発信の場、町民の交流の場として活用してもらう。	169千円	・令和7年度も令和6年度と同様に実施予定 10月18日、19日の開催を検討中 ・地域の文化意識の向上と交流及び活性化を図るため、今後も継続して支援を行う。	169千円	八雲支所			
521	玉湯文化活動推進事業	住民の柔軟な発想による企画、運営の文化祭及び文化・芸術講演会等を支援することにより、住民の主体的なまちづくりの促進を図る。	市民部		●	●							●	●		●	●	○	【たまゆ文化祭】 ・開催日：10月26日(土)、10月27日(日) ・内容：各種団体の発表、展示イベント、模擬店など ・その他：8月23日(金)実行委員会を開催し、内容等を検討。 ■令和6年度より玉湯地域振興特定事業補助金へ統合し、事業費を交付予定。玉湯文化活動推進事業は廃止した。	・引き続き、住民の企画運営する文化祭及び文化・芸術講演会等を支援することにより、玉湯地域の文化活動の推進と住民主体のまちづくりの促進を図っていく。 ・こどもの参加を促せる内容の充実。	100千円	—	—	玉湯支所			
522	宍道地域文化活動推進事業	文化活動や生涯学習の推進を図るため、宍道公民館運営協議会が行う宍道町民文化祭、きまちの里活性化協議会が行うきまち川まつり(来楽館)に対して補助を行う。	市民部		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	・第51回宍道町民文化祭を11月2日(土)～4日(月)の期間で開催した。 ・3日間で述べ1500名超の来場者があり、地域全体で文化祭を盛り上げることができた。	・きまち川まつり部分の補助を他の補助に統合し、本事業では宍道町民文化祭への補助のみを継続する。	198千円	・「宍道町ダジャレ川柳コンテスト」の作品を募集中(9月20日まで)。応募のあった全作品を文化祭で掲示予定としている。 ・宍道町民文化祭は11月1日(土)～11月3日(月)開催予定。	189千円	宍道支所				
523	八束文化祭開催事業	八束地域の文化活動の発表の場である文化祭の開催を支援する。	市民部			●	●						●	●	●	●	○	補助金申請は見送られたが、文化祭は下記のとおり開催 ・10月26、27日でステージ発表等実施 ※展示は22～27日	コロナ禍以降、補助金申請なしで事業を継続されていることから、補助金を廃止する。	186千円	—	—	八束支所				
524	総合的・体験的な学習充実事業【再掲】	「ふるさと松江」の生活・産業、自然環境や歴史文化について、体験を通して総合的に学ぶ学習を充実することで、「ふるさと松江」に誇りと愛着をもつ人材を育成する。そのために、各小・中・義務教育学校で校区や地域の特色を活かした総合的・体験的な学習を実施する。	教育委員会	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	各校の計画に沿って、順調に実施されている。	物価高騰による消耗品等が今後も値上がりする可能性がある。保護者負担への対応を検討する必要がある。	1,621千円	各校の計画に沿って、順調に実施されている。	1,621千円	学校教育課					
525	音楽教育振興事業助成	交通費等の経費を補助することで、遠距離校を含めた市内の小中学生が一同に会する機会を安定して創出し、児童生徒の音楽教育振興を図る。	教育委員会	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	・吹奏楽コンクールについては実施済み。 ・連合音楽会については、10月開催に向けて順調に進んでいる。	バスの借上料について大幅に高騰しており、吹奏楽コンクールも含め、音楽活動に安定して参加することができるように引き続き予算措置する必要がある。	4,236千円	・今後申請、助成予定。	4,796千円	学校教育課					
526	鹿島文化ホール管理運営	松江市鹿島文化ホールの管理運営を行う。	教育委員会	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	・NPO法人かしまによる指定管理 利用者数 11,532人(前年同時期比 88.6%)	・NPO法人かしまによる指定管理 ・施設修繕	15,253千円	・NPO法人かしまによる指定管理 利用者数 2,270人(前年同時期比105.9%)	16,057千円	生涯学習課					
527	総合文化センター運営	松江市総合文化センター(プラバホール)の管理運営を行う。	教育委員会	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	・松江市スポーツ・文化振興財団による指定管理 ・令和6年4月全館再開。 プラバホール利用者数 90,156人	R6年4月に全館再開し、通年で行うリニューアルイベントや新設した学習室の影響もあり休館前に比べ利用者数は増加した。	158,605千円	・公益財団法人松江市スポーツ・文化振興財団指定管理 ・利用者数15,637人	171,585千円	生涯学習課					
528	八雲アルバホール管理運営	八雲アルバホールの管理運営を行う。	教育委員会	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	・市による直営管理 利用者数 6,528人(前年同時期比 94.5%)	・市による直営管理 ・施設修繕	6,634千円	・市による直営管理 利用者数 710人(前年同時期比 63.1%)	9,941千円	生涯学習課						

No	事業名	事業概要	担当部局	事業年度								六つの取組の視点						進捗状況		実績	分析	決算額	実施状況、今後の方針	当初予算	担当課				
				第1期				第2期																					
				R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	知 る	育 て る	伝 え る	創 造 す る	活 用 す る	支 え る	予定どおり 進捗した	予定どおり 進捗しなかった										
【柱6】伝統文化芸術活動の拠点となる施設																													
★	文化財情報発信施設整備事業 (埋蔵文化財調査センター)【再掲】	埋蔵文化財センターと松江市文書館(仮称)を一 体的に配置し文化財情報を調査・発信する施設 「文化財情報発信施設」のうち、埋蔵文化財セン ター部分を整備する。	文化スポーツ部																	—	—	—	・環境センターの改修工事実施にあたり、間取り、設 備等を松江城・史料調査課(文書館)と検討し、公共 建築課、デジタル戦略課と協議を実施した。 ・7月に設計業者と契約済み。8月には松江城・史料 調査課、公共建築課と協議を行い、現地確認も実施 した。8月末には平面図等について再度協議を実施 する予定。 ・備品の確保、購入にあたり、環境センターの備品の 確認や業者との協議を実施した。 ・R8年度は補助事業で改修工事を実施するため、 島根県文化財課との協議もすでに1回実施した。8 月28日に2回目の協議を行い、9月10日に文化庁 に事前協議を行う予定。	3,122千円	埋蔵文化財調査課				
★	文化財情報発信施設整備事業(文書 館)【再掲】	松江市の所有する歴史的に重要な公文書と地 域に残る歴史資料(古文書等)を収集・保存し、 市民の利用に供するための施設「松江市文書 館」を整備するもの。	文化スポーツ部																	—	—	—	市民等が歴史的公文書や地域の歴史資料などの史 料をもとに、地域の歴史を知ることのできる拠点と して、現在の松江市環境センターを改修し文化財情 報発信施設の一つとして「文書館」を整備するもの。 令和7年度は設計業務委託を行う。	1,996千円	松江城・史料調査課				
★	ぶらっとプラバ魅力発見事業【再掲】	新たに着任した音楽プロデューサーの指揮によ り、さんびる文化センタープラバホールを拠点と して、こどもたちをはじめ多くの市民に身近に 感じてもらうための事業を実施する。	教育委員会																	—	—	—	・親子ペア無料招待 6月:N響公演 ・公演リハーサルの無料公開 6月:N響公演のリハーサル見学会 ・公開レッスン 6月:松江ウインドアンサンブル40周年記念公園の ゲスト指揮者「西村友」氏による市内中学校4校の吹 奏楽部指導 ・プラバホールを市民に身近に感じてもらえるよう、 引き続き広報に努め、来演者の増加を図る	1,864千円	生涯学習課				
601	中海振興多目的施設管理運営	松江市中海振興多目的施設の維持管理運営費。 船舶も利用可能な浮き桟橋のほかサイクリング 休憩所や野鳥観察の機能を備えている。	政策部	●	●	●	●	●	●	●	●	●							○	・令和7年3月末時点の施設利用者数 は、計15,019名。 ・クーリングシェルターに指定。	・実証実験の結果などから活用策の検 討を行う。	2,100千円	・令和7年6月末時点の施設利用者数は、計523 名。 ・クーリングシェルターに指定。	2,696千円	地域政策課				
602	京店広場・旧日銀松江匠工房管理	松江市京店広場と旧日銀松江匠工房の管理運 営を指定管理者に委託するもの。	産業経済部	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●		●		○	・カラコロ工房の管理、運営 ・カラコロ広場の管理、運営	カラコロ工房について、令和3年度末に 策定した「カラコロ工房新活用基本構 想」を踏まえ、R5～6年度に改修工事を 実施した。 より多くの市民や観光客が集う施設と なるように適切な施設の管理運営を行 う。	30,993千円	・カラコロ工房の管理、運営 ・カラコロ広場の管理、運営	32,063千円	商工企画課				
603	京店広場・旧日銀松江匠工房整備事 業(継続)	カラコロ工房本館棟は築80年以上経過し老朽 化が進んでいる。耐震診断の結果や建築基準法 第12条定期点検の結果から、早急な老朽改修 工事の必要性を指摘されている。 一方でオープンしてから20年以上が経過し、拠 点施設として一層の魅力化を図るため、施設の あり方を検討する。具体的には施設の利活用の 案を民間事業者から公募し、提案内容を題材に しながら検討委員会で議論・検討を重ね、令和3 年度末に基本構想を策定する。 最終的には令和6年度中のリニューアルオー プンを目指し事業を進めていく。	産業経済部	●	●	●	●						●		●		●		○	カラコロ工房の老朽改修工事を行うと ともに、中心市街地の拠点としてより多 くの市民や観光客に活用されるよう、施 設の更なる魅力化のためのリノベージ ョンを行った。	令和6年度で改修工事が完了	458,777千円	—	—	商工企画課				
604	来待ストーン管理運営	来待ストーンの管理運営を指定管理者に委託す るもの。	観光部	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●		○	管理運営を行った。	引き続き、必要な修繕や指定管理を実 施し、管理運営を行う。	20,416千円	管理運営を実施している。展示物である来待石を切 り出した山のを維持保全を行う。	40,668千円	観光施設課					
605	海の学苑ふるさと創生館管理運営 【再掲】	美保関海の学苑ふるさと創生館(メテオプラザ) の管理運営を指定管理者に委託する。	観光部	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●		○	管理運営を行った。施設の不具合箇所 は現状調査を行い、当面の安全対策を 行った。	引き続き、必要な修繕や指定管理を実 施し、管理運営を行う。	92,702千円	管理運営を実施している。老朽化に伴う施設の不具 合箇所は、随時、必要な修繕を行う。	71,997千円	観光施設課						
606	小泉八雲旧居保存活用事業【再掲】	旧居公開に向けた検討及び、保存活用計画策定 準備を行う。	文化スポーツ部			●	●	●					●			●		○	・令和6年6月3日交付決定により文化 庁補助事業として保存活用計画策定事 業を実施。 ・令和6年6月「史跡小泉八雲旧居保存 活用計画策定委員会」を設置。委員5名 に同年8月1日付け委嘱状交付。 ・10月4日(金)に第1回委員会を開催し た。 ・2月4日(火)に第2回委員会を開催し た。	・文化庁補助を受けて保存活用計画策 定。 ※令和6年度から事業名変更「小泉八雲 旧居保存活用計画策定事業費」	3,502千円	・令和7年4月1日交付決定により文化庁補助事業と して保存活用計画策定事業を実施。 ・8月26日(火)に第3回委員会開催予定 ・11月上旬に第4回委員会開催予定 ・令和8年3月印刷・刊行予定 ・引き続き、委員、文化庁等の意見・助言を受けなが ら計画策定を進める。	2,969千円	文化振興課					
607	美保関観光ビュッフェ保存活用事業 【再掲】	重要文化財に指定(令和4年2月)されたことを 受け、保存活用計画を策定する。	文化スポーツ部			●										●		○	・美保関灯台とあわせて施設の一部が 重要文化財指定された(令和4年2月) ことに伴い、灯台の一般公開に向けた、 課題の洗い出しや整理を進めた。 ・令和6年度保存活用計画案を作成し た。国や県のスケジュールに合わせて案 を提出する。	—	—	—	文化振興課						

No	事業名	事業概要	担当部局	事業年度										六つの取組の視点					進捗状況		実績	分析	決算額	実施状況、今後の方針	当初予算	担当課	
				第1期					第2期					知る	育てる	伝える	創造する	活用する	支える	予定どおり進捗した							予定どおり進捗しなかった
				R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10																
608	SNS等による情報発信推進事業【再掲】	多種多様な伝統文化芸術を誰もが興味を持てるように、文化・スポーツ関係イベントを約1分程度のニュース動画にわかりやすくまとめ、年間を通じてYouTubeやSNS等で発信する。	文化スポーツ部				●	●								●					○		2,452千円	—	—	文化振興課	
609	文化力を生かしたまちづくり推進事業【再掲】	「松江の文化力を生かしたまちづくり条例」に基づき策定する計画や設置する審議会により、毎年事業をローリングしながら、文化芸術振興事業を推進する。	文化スポーツ部	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●					○		223千円	【審議会】 第1回審議会：10月1日開催予定 第2回審議会：3月下旬頃開催予定 引き続き文化芸術振興事業の進捗管理を行うとともに、「文化力を生かしたまちづくり条例」や「松江市伝統文化芸術振興計画」の認知向上を図る。	623千円	文化振興課	
610	明々庵及び赤山茶道会館管理運営【再掲】	松江市茶道文化施設(明々庵(県指定文化財)・赤山茶道会館)の管理運営を指定管理者に委託する。	文化スポーツ部	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			●		○		14,116千円	・適正な管理運営を行っていたいている。 ・赤山茶道会館大屋根改修工事、明々庵屋根改修工事を実施予定。	22,901千円	文化振興課	
611	八雲林間劇場施設改修事業	八雲林間劇場(しいの実シアター)について、老朽化、故障した施設設備を、計画的に修繕する。	文化スポーツ部	●	●	●										●				○		—	—	・非常灯修繕を実施した。(71,500円)	—	文化振興課	
612	松江の文化力次世代育成・継承事業【再掲】	子どもとその保護者などに、松江の伝統文化芸術を知る、体験するなどの機会を継続して提供するとともに、地域の伝統行事に携わる団体を支援することで、七つの柱の共通課題である次世代育成や伝統文化芸術の継承を図る。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			●		○		4,763千円	【松江の文化力体験推進事業】 日本旅行Tis松江が運営し、予定した14講座すべてが完了した。参加者目標値もクリアし、興味関心の高さを感じた。 【地域に根づく伝統文化継承事業補助金】 申請件数：1件 途中公民館の連絡会で周知する等取り組んだ。 ・引き続き、子どもと保護者をメインターゲットとして市民に松江の文化力を知り、楽しみながら体験する機会を提供することで、松江の文化力への関心を高め、郷土愛の醸成を育み、担い手の確保や地域の伝統文化の継承を図る。 ・地域に根づく伝統行事の保存・継承の取り組みを支援し、伝統行事の継承を図る。	2,500千円	文化振興課	
613	小泉八雲記念館管理運営【再掲】	小泉八雲記念館の管理運営を指定管理者に委託する。	文化スポーツ部	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			●		○		27,742千円	・適正な管理運営を行っている。 ・指定管理者から市への迅速な報告により、施設修繕等適正に行われている。 ・入館者数：91,535人 ・小泉八雲の研究拠点として、小泉八雲旧居と合わせて施設のあり方を整理する必要がある。 ・2016年のリニューアルオープン以降8年が経過し、展示映像音響設備のオーバーホール等実施する必要がある。	22,432千円	文化振興課	
614	かやぶき交流館施設改修事業	八雲かやぶき交流館について、計画的に修繕を行うもの。	文化スポーツ部	●	●	●										●				○		—	—	—	文化振興課		
615	かやぶき交流館管理運営	八雲かやぶき交流館の管理運営を指定管理者に委託するもの。	文化スポーツ部	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			●		○		3,882千円	・引き続き、平常時の貸館の利用拡大に向けたPR、広報に努める必要がある。 ・近隣の八雲林間劇場と合わせて、一体的な施設のあり方、活用方針を検討する必要がある。 ・茅葺屋根の雨漏りが発生している。引き続き施設のあり方を含め検討していく必要がある。	3,784千円	文化振興課	
616	八雲林間劇場管理運営【再掲】	八雲林間劇場の管理運営を指定管理者に委託する。	文化スポーツ部	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●					○		33,643千円	・指定管理事業として国内秀作公演、幼児を対象とした人形劇、未来学校事業、海外秀作公演を実施。NPO法人の努力により複数の補助金を獲得しサービスの拡充を行われた。 ・引き続き近隣のかやぶき交流館と合わせて、一体的な施設のあり方、活用方針、後継者問題を検討する必要がある。 ・劇場内の非常灯修繕を実施した。 ・指定管理事業として小中学生を対象とした育成事業を実施予定	11,895千円	文化振興課	
617	中村元記念館活用事業【再掲】	インド哲学・仏教学上大変貴重な、松江市に寄贈された3万冊を超える蔵書を文書検索管理システムに分類・入力し、活用していく。また、学術振興を目的とし、学生の論文を対象とする「中村元東洋思想文化賞」の表彰にあたり奨励賞(市長賞)を授与するための負担金を支出する。	文化スポーツ部	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			●	●	○		15,724千円	・本年度より、博士の資料の調査研究が本格的に行われている。並行して、今後の施設のあり方を検討する。 ・業務委託先のNPO法人の努力により財政赤字などの課題があり、今後の施設のあり方を検討する必要がある。	17,363千円	文化振興課	
618	ジオパーク推進事業【再掲】	地域の貴重な地質遺産や多様な生態系、伝統文化を次世代に守り、伝える活動を通じて、ふるさとの誇りや愛着を高め、人材育成を促進するとともに、観光や産業などの地域振興に繋げる。	文化スポーツ部	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			●	●	○		10,935千円	8月からジオパークに関するツアーや子ども向けイベントを実施予定であり、入込客数を増加するため、積極的に広報を行い着実に業務を進めていきたい。	11,492千円	ジオパーク推進室	

No	事業名	事業概要	担当部局	事業年度										六つの取組の視点					進捗状況		実績	分析	決算額	実施状況、今後の方針	当初予算	担当課	
				第1期					第2期					知る	育てる	伝える	創造する	活用する	支える	予定どおり進捗した							予定どおり進捗しなかった
				R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10																
619	鹿島歴史民俗資料館管理運営【再掲】	鹿島歴史民俗資料館の管理・運営及び発掘調査に伴う出土品の特別展示や佐太神社を中心とした由緒ある文化財のほか、佐陀神能に関する資料、増田渉と魯迅関連資料等の保存・伝承や有効活用を図る。	文化スポーツ部	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○		・特別展『海と湖に生きた人々―登録有形民俗文化財「島根半島沿岸及び宍道湖・中海の漁撈用具」登録記念―』（10/5～）を実施。	令和6年度と同様に実施	12,739千円	特別展「島根半島の考古学展」(令和7年10月12日～令和8年1月18日)を開催予定。	12,997千円	文化財課		
620	出雲玉作資料館管理運営【再掲】	全国唯一の玉作り資料館として、「古代の玉作り」を柱に、「近代めのう細工」、「布志名焼の歴史」等の常設展示を行うとともに、企画展等を開催する。	文化スポーツ部	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○		春季企画展「庶民の布志名焼・舟木窯生活用品をつくる」、秋季企画展「松江藩の焼き物～茶道具から雑器まで～」を開催。	令和6年度と同様に実施	12,445千円	春季企画展「海を越えた布志名焼～瀬松木窯180年の歴史～」(令和7年4月8日～5月18日)を開催。夏季ミニ企画展として、「むかし、玉湯は海だった～来待層と布志名層の化石～」(令和7年7月29日～8月24日)を開催予定。	13,958千円	文化財課		
621	松江城・城山公園管理運営【再掲】	国宝松江城天守を含む城山公園の維持管理・運営、活用を行う。【指定管理者制度適用】	文化スポーツ部	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○		・城山公園の管理 ・城山公園道路支障木剪定・伐採 ・ナラタケモドキ病対策薬剤防除 ・本丸サクラ樹勢回復 ・城山公園内案内看板修繕	・緊急的な修理に対応できるような予算確保の必要がある。	25,526千円	・ナラタケモドキ病対策薬剤防除を実施 ・本坂東側(二之丸下ノ段)石垣照明修繕を実施 ・天守脱落瓦修繕を実施	4,698千円	松江城・史料調査課		
622	興雲閣管理運営【再掲】	県指定文化財である興雲閣の維持管理・運営、活用を行う。【指定管理制度適用】	文化スポーツ部	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○		・興雲閣の管理 ・興雲閣の破損調査	・緊急的な修理に対応できるような予算確保の必要がある。	933千円	・興雲閣の管理、施設の修繕	660千円	松江城・史料調査課		
623	松江市文書館機能整備事業	歴史的に重要な公文書と、地域に所在する歴史史料(古文書等)を等しく収集・整理・保存し、市民の利用に供することを目的とし、「松江市文書館(仮称)整備構想」に基づき、文書館の機能を整備する。	文化スポーツ部 総務部	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○		・松江市文書館(仮称)基本計画検討委員会を8月・11月に開催。令和6年度内にあと1回開催し、今年度中の策定を目指す。 ・歴史公文書の移管・目録整備作業を実施中。 ・アーキビスト育成(研修受講ほか)	・令和6年度に策定する基本計画に基づき、文書館施設の整備と開館に向けた準備を遂行する。 ・公文書管理にかかる職員研修を実施する。	5,152千円	・松江市公文書管理条例(仮称)と松江市文書館の設置及び管理に関する条例(仮称)を制定予定。 ・歴史公文書の評価・選別、移管、目録作成を実施中。 ・アーキビスト育成のための研修受講。	7,920千円	松江城・史料調査課		
624	松江歴史館管理運営【再掲】	松江の歴史及び文化に関する資料の収集、保存・調査研究、展示とともに学習活動の場を提供する松江歴史館の管理運営を行う。	文化スポーツ部	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○		・松江歴史館の入館者数は145,149人、観覧者数は49,449人だった。 ・学芸員による松江の歴史や美術に関する講座「松江おもしろ談義」を12回行った。 ・市立小学6年生に対して松江城と松江歴史館等を案内する「松江城授業プロジェクト」を34校行った。 ・松江市内の歴史に興味がある小学5・6年生を対象に、松江城や歴史館の裏側を見学する「めざせ！お城マスター！」を4回行った。 ・名誉館長講座を12回行った。 ・松江歴史館ニュースレター「MATSUREKI」を2回刊行した。	・博物館の持続的な運営を続けていくために、市民に親しまれる博物館を目指す。 ・多くの方に松江歴史館を周知し何度も利用してもらえるように、SNSなどを活用した効果的な広報や、関心を抱くイベント、分かりやすい展示を行う。	111,090千円	・松江歴史館の入館者数は36,559人、観覧者数は11,564人だった。 ・学芸員による松江の歴史や美術に関する講座「松江おもしろ談義」を2回行った。 ・市立小学6年生に対して松江城と松江歴史館等を案内する「松江城授業プロジェクト」を4校行った。 ・名誉館長講座を3回行った。 ・博物館の持続的な運営を続けていくために、市民に親しまれる博物館を目指す。 ・多くの方に松江歴史館を周知し何度も利用してもらえるように、SNSなどを活用した効果的な広報や、関心を抱くイベント、分かりやすい展示を行う。	94,449千円	松江歴史館		
625	松江歴史館資料取得事業【再掲】	松江の歴史や文化に関わる財産を後世に引き継ぐため、貴重な資料は購入などによって取得するとともに、収蔵環境を良好に保ち、資料を適切に保管し活用する。	文化スポーツ部	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○		・資料の寄贈・寄託を行った。(寄贈資料13件、寄託資料7件)	・松江の歴史や文化に関わる財産を後世に引き継ぐため、貴重な資料は購入などによって取得する。 ・資料を効果的に活用するため、収蔵品データベースに情報を登録し、必要なものは公開していく。	973千円	・松江の歴史や文化に関わる財産を後世に引き継ぐため、貴重な資料は購入などによって取得する。 ・資料を効果的に活用するため、収蔵品データベースに情報を登録し、必要なものは公開していく。	2,633千円	松江歴史館		
626	松江歴史館調査・研究事業【再掲】	魅力ある展覧会とするため、翌年度以降に開催する展覧会の調査研究を行い、その成果を研究紀要や講演会で広く伝える。	文化スポーツ部	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○		・『松江歴史館研究紀要 第13号』の製作を行った。 ・来年度の企画展示の作品調査を行った。	・展示開催に向けて計画的に調査・研究を行い、松江の魅力を掘り起こしていく。 ・資料の借用交渉を早めに行い、展示品を確保する。 ・調査・研究の成果は、展覧会の開催や図録の作成、研究紀要の発行などを通してより多くの人に伝える。	802千円	・『松江歴史館研究紀要 第14号』の製作を行っている。 ・来年度の企画展示の作品調査を行っている。 ・展示開催に向けて計画的に調査・研究を行い、松江の魅力を掘り起こしていく。 ・資料の借用交渉を早めに行い、展示資料を確保する。 ・調査・研究の成果は、展覧会の開催や図録の作成、研究紀要の発行などを通してより多くの人に伝える。	846千円	松江歴史館		
627	松江歴史館展示企画事業【再掲】	松江の歴史や文化を市民や観光客に知っていただくため、松江に深く関わりのあるテーマを題材とした展覧会を開催する。	文化スポーツ部	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○		4つの展覧会を実施した。 ①企画展「神々の美術―出雲の神像と神宝」 ②企画展「松江体育協会創立100周年記念 松江のスポーツ今昔」 ③特別展「月照寺と松平家の宝」 ④館蔵品展「松江藩を支えた家老 大橋茂右衛門」	・市民や観光客に関心を持ってもらえるように、調査・研究の成果をわかりやすく展示をしていく。 ・公開承認施設の利点を活かして、国宝・重要文化財をはじめとする貴重な資料を展示し、歴史や文化に対する関心を高めていく。 ・近年増加している外国人観覧者にも対応した展示を行っていく。	17,290千円	1つの展覧会を実施した。 ①企画展「松江の名工 小林如泥」 ・市民や観光客に関心を持ってもらえるように、調査・研究の成果をわかりやすく展示をしていく。 ・公開承認施設の利点を活かして、国宝・重要文化財をはじめとする貴重な資料を展示し、歴史や文化に対する関心を高めていく。 ・近年増加している外国人観覧者にも対応した展示を行っていく。	16,357千円	松江歴史館		
628	松江ホーランエンヤ伝承館管理運営【再掲】	水都松江市が誇るホーランエンヤを保存伝承し、その素晴らしさを広く伝える松江ホーランエンヤ伝承館の管理運営を行う。	文化スポーツ部	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○		・松江ホーランエンヤ伝承館の入館者数は7,060人だった。	・次回のホーランエンヤ開催に向けて、機運を高める取組みも必要である。市内の学校へ伝承館の観覧を促すなど、長期的に計画を立て取組む。	5,547千円	・松江ホーランエンヤ伝承館の入館者数は1,541人だった。 ・次回のホーランエンヤ開催に向けて、8月5日から多目的ホールで展示「権伝馬船を彩る巨大な飾り」を開催するなど、機運を高めるような取組みを計画的に行う。 ・松江歴史館からの誘導入館者数を増やすため、松江歴史館で効果的な広報を行う。	5,971千円	松江歴史館		
629	総合文化センターリニューアルオープン事業	大規模改修工事を経て、令和6年度にリニューアルオープンする総合文化センターが、文化芸術活動や学びの拠点として、より多くの市民に親しまれ、利用されるよう、1年を通して様々な記念行事を開催し、リニューアルした施設の周知及び来館促進を図る。	教育委員会			●	●							●	●	●	○		・5月22日に第3回松江市プラバホールリニューアルオープン事業実行委員会が開催され、今年度の事業計画等を確認した。 ・1年を通して様々な記念行事を開催し、リニューアルする施設の周知及び来館促進を図っている。 ・10公演実施	令和6年度で事業終了	22,750千円	・市による直営管理利用者数 6,528人(前年同時期比 94.5%)	—	生涯学習課			
630	総合文化センター整備	施設建設後35年以上が経過する中、文化振興の拠点としての役割をこれからも担うことができるよう、違法・耐震・保全・改善に係る総合的な改修を行う。	教育委員会	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○		・令和6年4月全館再開。 ・会議室等備品更新実施 ・南駐車場機器更新実施	・大規模改修の対象外だった部分を順次施設修繕できた	15,242千円	・市による直営管理利用者数 6,528人(前年同時期比 94.5%)	5,189千円	生涯学習課			

No	事業名	事業概要	担当部局	事業年度										六つの取組の視点						進捗状況		実績	分析	決算額	実施状況、今後の方針	当初予算	担当課
				第1期					第2期					知る	育てる	伝える	創造する	活用する	支える	予定どおり進捗した	予定どおり進捗しなかった						
				R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10																
631	美保関歴史生活体験資料館運営事業【再掲】	美保関歴史生活体験資料館の管理運営を行う。	教育委員会	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●						○	・運営業務委託先：松江市美保関歴史・生活体験活動推進協議会 ・市内の小学生等の体験学習の受け入れを行っている ・体験学習実施学校数7校	希望のあった学校についてすべて体験事業を実施することができた	2,457千円	・市による直営管理 利用者数 6,528人 (前年同時期比 94.5%)	2,038千円	生涯学習課	
632	公民館管理	公民館の維持管理を行う。	教育委員会	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			○	社会教育施設並びに地域の拠点として住民にとって利用しやすい施設となるよう、必要な保守点検管理や修繕等を行った。	・市内29公民館を指定管理者制度により運営することができた。	700,384千円	・市による直営管理 利用者数 6,528人 (前年同時期比 94.5%)	714,160千円	生涯学習課	
633	公民館施設改修事業	公民館施設・設備の耐用年数等を踏まえ、優先度の高いものから改修等を実施する。	教育委員会	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	・秋鹿公民館空調改修は、予定どおり施工 ・城西公民館空調改修は、物価高騰の影響で工事費が不足することから、改めて令和7年度実施に計画変更 ・津田公民館の屋根改修は、工事までには必要なく、修繕で対応済	・空調改修(城西工事、竹矢よらい会館設計)実施を予定 ・島根町複合施設電気設備改修設計・工事実施予定	11,164千円	・市による直営管理 利用者数 6,528人 (前年同時期比 94.5%)	45,822千円	生涯学習課		
634	公民館振興事業	市民学習発表会を松江市公民館運営協議会連合会へ事業実施を委託し実施する。	教育委員会	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		○	ブロック事業や市民学習発表会へ向け各地区で活動を行った。 今後の市民学習発表会のあり方について各ブロックの代表者と協議を行い、令和7年度の実施方法を決定した。	今年度も全ブロックで市民学習発表会を開催することができた。	1,880千円	・市による直営管理 利用者数 6,528人 (前年同時期比 94.5%)	2,000千円	生涯学習課		
635	鹿島文化ホール管理運営【再掲】	松江市鹿島文化ホールの管理運営を行う。	教育委員会	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	・NPO法人かしまによる指定管理 利用者数 11,532人(前年同時期比88.6%)	・NPO法人かしまによる指定管理 ・施設修繕	15,253千円	・NPO法人かしまによる指定管理 利用者数 2,270人(前年同時期比105.9%)	16,057千円	生涯学習課		
636	出雲かんべの里運営事業【再掲】	出雲かんべの里の管理運営を行う。	教育委員会	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		○	・特定非営利活動法人八雲総合サービス協会による指定管理 利用者数120,381人(民話館8,692人、工芸館105,114人、かんべ茶屋6,575人)	工芸館の入館者数カウント方法を変更したため、前年度より大幅に増加した。そのほか民話館についても様々な魅力あるイベントを企画するなどの工夫により、利用者数が増加した。	42,474千円	・市による直営管理 利用者数 6,528人 (前年同時期比 94.5%)	43,970千円	生涯学習課		
637	人と情報・文化の交流館運営	人と情報・文化の交流館の管理運営を行う。	教育委員会	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	・一般社団法人加賀瀬戸遊覧船による指定管理 利用者数5,529人(ギャラリー晁光20人、遊覧船乗船者5,509人)	ギャラリー晁光利用者及び遊覧船乗船者数どちらも増加した。	11,479千円	・市による直営管理 利用者数 6,528人 (前年同時期比 94.5%)	9,698千円	生涯学習課		
638	総合文化センター運営	松江市総合文化センター(プラバホール)の管理運営を行う。	教育委員会	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	・松江市スポーツ・文化振興財団による指定管理 ・令和6年4月全館再開。 プラバホール利用者数 90,156人	R6年4月に全館再開し、通年で行うリニューアルイベントや新設した学習室の影響もあり休館前に比べ利用者数は増加した。	158,605千円	・市による直営管理 利用者数 6,528人 (前年同時期比 94.5%)	171,585千円	生涯学習課		
639	八雲アルバホール管理運営【再掲】	八雲アルバホールの管理運営を行う。	教育委員会	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		○	・市による直営管理 利用者数 6,528人 (前年同時期比 94.5%)	・市による直営管理 ・施設修繕	6,634千円	・市による直営管理 利用者数 710人 (前年同時期比 63.1%)	9,941千円	生涯学習課		
640	中央図書館運営	市民の意見を取り入れながら、ニーズに応じた資料の収集やレファレンス、情報の発信を行う。 中央図書館を中心に、2つの地域館、移動図書館車、配本事業の連携、また、地域、学校図書館、大学等とのネットワークにより全市域に良質な図書館サービスを提供する。	教育委員会	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		○	<令和6年度実績> 【利用者数】 89,109人 【貸出冊数】1415,321冊 ※雑誌・視聴覚資料を含む。	中央図書館の臨時休館期間(R4.4.1～R5.9.30)を経て、令和6年度は1年を通して通常の運営体制で開館できたこともあり、対前年度比較で、利用者数は約61.3%(33,865人)の増、貸出冊数は約54.0%(145,709冊)の増となった。	31,538千円	<令和7年4月～6月末実績> 【利用者数】 22,897人 【貸出冊数】105,340冊 ※雑誌・視聴覚資料を含む ・引き続き学習室等を利用する中・高校生等に対するおすすめ本の紹介や、SNS等で市立図書館イベントなどの情報発信に努め、図書館の利用者及び貸出冊数の増に繋げていきたい。	31,996千円	中央図書館		
641	移動図書館運営	図書館から離れた地域へ移動図書館車(ブックモバイル)で巡回して図書の貸出等を行い、全市域への図書館サービス充実を図る。	教育委員会	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		○	<令和6年度実績> 【利用者数】 2,813人 【貸出冊数】147,850冊 ※雑誌・視聴覚資料を含む。	対前年度比較で、移動図書館車の運行日数が約20.8%(41日)増えたが、利用者数は約17.3%(414人)の増、貸出冊数は約11.2%(4,822冊)の増にとどまった。	1,458千円	<令和7年4月～6月末実績> 【利用者数】 773人 【貸出冊数】13,072冊 ※雑誌・視聴覚資料を含む ・引き続きイベントへの参加(臨時巡回)やSNSを活用した情報発信に努め、新規利用者の増加を図る。	1,477千円	中央図書館		
642	島根図書館運営	市全域に良質な図書館サービスを提供するため、地域館における図書資料の貸出、レファレンスサービス等を行う。	教育委員会	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		○	<令和6年度実績> 【利用者数】 3,438人 【貸出冊数】117,915冊 ※雑誌・視聴覚資料を含む。	中央図書館が1年を通じて開館したことなども影響し、対前年度比較で、利用者数は約▲1.4%(▲48人)の減、貸出冊数は約▲13.2%(▲2,715冊)の減となった。	3,415千円	<令和7年4月～6月末実績> 【利用者数】 946人 【貸出冊数】4,473冊 ※雑誌・視聴覚資料を含む ・引き続きイベント実施やSNS等を活用した情報発信に努め、利用者の増加を図る	3,312千円	中央図書館		
643	東出雲図書館運営	市全域に良質な図書館サービスを提供するため、地域館における図書資料の貸出、レファレンスサービス等を行う。	教育委員会	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		○	<令和6年度実績> 【利用者数】113,813人 【貸出冊数】163,754冊 ※雑誌・視聴覚資料を含む。	東出雲図書館は、前年度(R5)に東出雲複合施設(ヨリアイーナ東出雲)への移転に伴う休館期間があった。令和6年度は1年を通して開館できたものの、中央図書館の通年開館なども影響し、対前年度比較で、利用者数は約1.1%(147人)の増、貸出冊数は約▲10.4%(▲7,378冊)の減となった。	3,803千円	<令和7年4月～6月末実績> 【利用者数】 3,358人 【貸出冊数】14,570冊 ※雑誌・視聴覚資料を含む ・引き続きイベント実施やSNS等を活用した情報発信に努め、利用者の増加を図る。	5,347千円	中央図書館		

No	事業名	事業概要	担当部局	事業年度										六つの取組の視点					進捗状況		実績	分析	決算額	実施状況、今後の方針	当初予算	担当課	
				第1期					第2期					知る	育てる	伝える	創造する	活用する	支える	予定どおり進捗した							予定どおり進捗しなかった
				R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10																
644	まちのRe－project事業	遊休不動産活用による面的な活性化を目指すエリアリノベーションに関する実践講座の開催や、遊休不動産活用・実事業化の提案と実践のための短期集中型合宿である「リノベーションスクール」の開催、遊休不動産実態調査などを行う。	都市整備部	●	●	●		●	●	●	●			●						○	・遊休不動産の掘り起こしと不動産オーナーへの協力依頼(実績3/57件) ・SNSを活用した情報発信 ・リノベーションまちづくりガイドライン等を活用した普及啓発(8件258部配布) ・都市再生推進法人の指定および業務連携	遊休不動産所有者への協力依頼が、実際に遊休不動産の利活用につながってきている。 引き続き、ガイドラインやSNSを活用し、リノベーションまちづくりの普及啓発および情報発信を行う。	5千円	・4～6月 遊休不動産調査(橋北地区中心市街地の一部)[済] ・4～7月 都市再生推進法人ヒアリング(R6報告・R7計画) ・4月～翌3月 遊休不動産調査・オーナーへの協力依頼・SNS発信 ・リノベーションまちづくりを推進するため、遊休不動産の所有者に対して当事業の情報提供・空き家空き店舗利活用意向調査を行うことで、新たな遊休不動産の掘り起こしを行い利活用につなげる。 ・また、リノベーションまちづくりガイドラインを活用した普及啓発に取り組むとともに、SNSや動画を活用した情報発信を強化する。 ・さらに、R5年度より都市再生推進法人の指定を開始し、官民連携でのまちなか再生を推進する。	72千円	都市政策課まちづくり推進室	

No	事業名	事業概要	担当部局	事業年度								六つの取組の視点						進捗状況		実績	分析	決算額	実施状況、今後の方針	当初予算	担当課
				第1期				第2期				六つの取組の視点						予定どおり 進捗した	予定どおり 進捗しなかった						
				R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 1 0	知 る	育 て る	伝 え る	創 造 す る	活 用 す る	支 え る								

【柱7】宍道湖、堀川、中海等の松江的景観																									
★	文化財情報発信施設整備事業(文書館)【再掲】	松江市の所有する歴史的に重要な公文書と地域に残る歴史資料(古文書等)を収集・保存し、市民の利用に供するための施設「松江市文書館」を整備するもの。	文化スポーツ部							●	●		●	●						—	—	—	・市民等が歴史的公文書や地域の歴史資料などの史料をもとに、地域の歴史を知ることのできる拠点として、現在の松江市環境センターを改修し文化財情報発信施設の一つとして「文書館」を整備するもの。 ・令和7年度は設計業務委託を行う。	1,996千円	松江城・史料調査課
★	松江湖畔公園再整備事業	宍道湖岸や松江しんじ湖温泉街等の立地特性を踏まえ、観光客や湖岸・公園を利用される市民のための利便性・快適性の向上を目的とした公園整備を実施する。	都市整備部							●	●	●								—	—	—	【6月契約済】松江湖畔公園(千鳥南公園)詳細設計業務委託 【実施予定】松江湖畔公園(千鳥南公園)整備工事 【関連】松江湖畔公園(千鳥南公園)の国土交通省工事部分 ・水辺ステージ 供用開始(4月) ・多目的テラス 供用開始予定(11月)	56,285千円	公園緑地課
701	中海振興多目的施設管理運営【再掲】	松江市中海振興多目的施設の維持管理運営費。船舶も利用可能な浮き桟橋のほかサイクリング休憩所や野鳥観察の機能を備えている。	政策部	●	●	●	●	●	●	●	●	●							○	・令和7年3月末時点の施設利用者数は、計15,019名。 ・クーリングジェルターに指定。	・実証実験の結果などから活用策の検討を行う。	2,100千円	・令和7年6月末時点の施設利用者数は、計523名。 ・クーリングジェルターに指定。	2,696千円	地域政策課
702	雲州人参振興対策事業	雲州人参産地の再興を図るため、生産にかかる農家負担を軽減できるよう新たな栽培体系の実証、普及などに向けた取り組みに対して支援を行う。	産業経済部	●	●	●	●	●	●	●	●		●	●				○	(雲州人参栽培体系近代化実証試験) ・島根大学と共同して新規就農者を含めた新規作付け圃場を5名×1a栽培実証および試験(4月)	・従来の6年生収穫では時間がかかり連作障害も大きくなることから、3～4年生収穫で連作障害を抑えつつ、単位面積当たりの収量を最大化するために、最適な栽植密度を検討するために比較試験を継続。 ・島根大学と連携し効率的な育苗技術確立に向けた実証試験を継続。	540千円	・雲州人参栽培体系近代化実証試験 ・島根大学と共同して、栽培実証および試験する。(4月) ※作付者5名、作付け圃場:6a ・補助金交付 雲州人参の作付に対する補助(3月)	936千円	農政課	
703	松江大根島牡丹振興対策事業	本市特産である、松江大根島牡丹の生産振興を図るため、国内外の販路拡大に向けた取組、土壌病害虫対策として、消毒剤の購入、新規就農者への苗の供給に対する支援を行う。	産業経済部	●	●	●	●	●	●	●	●		●	●				○	■担い手確保及び消費拡大に向けた牡丹認知度向上を目的とした事業を実施 ・大根島牡丹祭、切花品評会実施(4月) ・中国牡丹園無料解放(4月) ・花卉国際シンポジウムでの市長講演・牡丹展示実施(4月) ・松江駅で牡丹展示を実施(4-5月、12-1月) ・菊花展において牡丹展示(11月) ・とっとり花回廊牡丹展(11-12月) ・SNSによる情報発信 ■国内外販路拡大 ・京都府立植物園100周年記念式典参加支援(4月) ・台湾との建国花市への出展に関するオンライン会議を開催(10月) ・台湾での建国花市へ出展支援(1月)	販路拡大、担い手確保の取組を継続して支援し、産地維持を図る。 ①国内外の販路拡大を支援。 ②土壌病害虫対策を支援。 ③菊花展や駅、観光施設等を活用したPR活動、販促活動を実施。 ④農地の集積・集約化を支援。	3,574千円	○今後の方針 ■担い手確保及び消費拡大に向けた牡丹認知度向上を目的とした事業を実施予定 ・高校総体牡丹展示(7月-8月) ・菊花展において牡丹展示(11月) ・松江駅で牡丹展示(12-1月) ■国内外販路拡大 ・台湾との建国花市への出展に関するオンライン会議を開催予定(8月) ・台湾での建国花市へ出展支援予定(1月-2月) ■補助金交付 ・国内販路拡大事業を実施している松江大根島牡丹協議会への補助 ・松江市内における牡丹の栽培面積の拡大への補助 ・牡丹における土壌病害虫対策のために使用する土壌消毒剤の購入経費の補助 ・切花品評会や海外への輸出促進事業を実施している農	4,338千円	農政課	
704	八束花卉生産振興センター管理運営	農家の栽培・経営技術の向上、牡丹の品種の保存活動を行い、特産品の認知度向上を図る。特産品を基幹とした補充作物や新規作物の研究を行う。	産業経済部	●	●	●	●	●				●	●	●				○	・(雲州人参栽培体系近代化実証試験) ・島根大学と共同して新規就農者を含めた新規作付け圃場を5名×1a栽培実証および試験(4月) ・(牡丹品種保存の取組)今年度の改植品種を選定中	・島根大学や農家との連携により、雲州人参の栽培体系の近代化に向けた実証試験等を継続。 ・牡丹の品種保存の取組を継続。	17,076千円	・雲州人参栽培体系近代化実証試験 島根大学と共同して、栽培実証および試験する。(4月) ※作付者5名、作付け圃場:6a ・牡丹品種保存の取組 今年度の改植品種を選定中	22,248千円	農政課	
705	城下町・水の都魅力発信事業【再掲】	観光戦略プランを強力に推進するため、コンセプトである「Authentic Japan “MATSUE” ～城下町 水の都 暮らしに息づく伝統～」にある「城下町」や「水の都」にスポットを当てた事業を展開し、松江市の魅力を最大限に活用した観光振興を図る。	観光部				●	●	●	●	●	●	●	●				○	令和5年に策定した観光戦略プランのコンセプト「Authentic Japan “MATSUE” ～城下町 水の都 暮らしに息づく伝統～」にある「城下町」や「水の都」の発信のため、下記の事業を行う。 ・松江城お城まつりの開催 →桜木のライトアップやステージ企画で桜咲く松江城を演出 ・松江城ステージイベント開催 →歌舞伎俳優・尾上右近の公演を実施 ・武者のまち発信事業 →松江城やJR松江駅で武者のおもてなし ・湖畔の賑わい創出事業 →嫁ヶ島のライトアップを実施。 ・情報発信事業 →人気タレントを活用したプロモーション ・松江城の国宝100周年の機運醸成・タ日のブランディングなど ・AIを活用した周遊促進事業 →JR西日本が提供する観光アプリの活用し、観光客の周遊促進を図る	国内外における知名度向上を図るためには、経緯統的な観光資源の磨き上げとプロモーションが必要であり、引き続き「城下町」「水の都」にスポットを当てた事業を展開していく。 (令和7年度予定事業) ・国宝100周年記念事業の実施 →特別版お城EXPO in 松江、松江城雲海ライトアップを開催予定 ・松江城お城まつりの開催 →桜木のライトアップやステージ企画で桜咲く松江城を演出 ・武者のまち発信事業 →松江城やJR松江駅で武者のおもてなし ・湖畔の賑わい創出事業 →嫁ヶ島のライトアップを行う。	59,673千円	松江城天守国宝指定10周年の節目を契機とした誘客促進を図る ・桜と武者のシーズン開催(3～4月) →桜木のライトアップ、武者をテーマとしたイベント →特別版お城EXPO in 武者 →お城好きの祭典「お城EXPO」の特別版を松江で開催(6月28日、29日) ・松江城雲海ライトアップ →人工雲海とライトアップで松江城を華麗に彩る(6月28日～8月17日) ・武者のまち発信事業 →松江城での武者によるおもてなし	68,987千円	観光振興課	

No	事業名	事業概要	担当部局	事業年度										六つの取組の視点					進捗状況		実績	分析	決算額	実施状況、今後の方針	当初予算	担当課	
				第1期					第2期					知る	育てる	伝える	創造する	活用する	支える	予定どおり進捗した							予定どおり進捗しなかった
				R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10																
706	地域花火実施事業【再掲】	地域花火の開催を支援することで、地域の賑わい創出や地域コミュニティ活性化にもたらす効果等を検証し、今後の地域花火のあり方について検討する。	観光部				●	●	●	●	●	●		●			●	●	○	・現在15件申請。15件交付決定。 ・補助対象経費の10分の10以内の額(未満切捨て)とし、1団体あたり200千円を上限とした。	・引き続き、地域独自の花火大会(新規・既存問わず)の開催を支援し、地域のにぎわい創出、コミュニティの維持に對してもたらす効果等を検証する。 ・補助対象経費の10分の10以内の額(未満切捨て)とし、上限200千円。	3,000千円	・現在8件申請。8件交付決定。 ・補助対象経費の10分の10以内の額(未満切捨て)とし、1団体あたり200千円を上限とした。	3,400千円	観光振興課		
707	嫁ヶ島活用事業【再掲】	嫁ヶ島を活用したイベント開催を補助し観光資源として活用・魅力向上を図るとともに、常設ライトアップの維持管理を行う。	観光部	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●			●	●	○	・4月から11月まで、土・日・祝(荒天時除く)に嫁ヶ島のライトアップを実施した。 ・8月4日(日)に「歩いて渡る嫁ヶ島」、9月21日(土)に「嫁ヶ島万灯会」、10月5～20日までの土日祝に「湖上茶会」を実施。	・引き続き、嫁ヶ島のライトアップおよび関連イベントを支援する。	2,701千円	・4月から土日祝(荒天時除く)に嫁ヶ島ライトアップを実施している。 ・8月3日(日)に「歩いて渡る嫁ヶ島」、9月21日(土)に「嫁ヶ島万灯会」、10月11～26日までの土日祝に「湖上茶会」を実施。	3,000千円	観光振興課		
708	松江水郷祭補助金	松江市の最大の夏祭りである水郷祭の運営のため、補助金を交付する。	観光部	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●			●		○	・昨年に引き続き、8月3日、4日に花火の発数と有料観覧席を大幅に拡大した社会実験として開催した。 ・過去最大となる2日間21,000発の花火の打ち上げとドローンショーを実施。 ・持続可能な開催モデルを検討するため、有料観覧席を大幅に拡大(2日間合計26,000席程度) ・開催後にアンケートを行い、今後の開催について検討する。	・8月2日、3日に開催予定。 ・花火の発数は2024開催と同規模の打ち上げ、ドローンショーについても実施予定。 ・有料観覧席についても2024開催を基本に見直しを行う。	24,819千円	開催日:8月2日(土)・3日(日) 内容:湖岸への有料観覧席の設置、花火の演出強化を行い開催する。 ・湖上花火大会(2日で21,000発、演出面を強化) ・有料観覧席(両日約14,500席) ・ドローンショー(888機)	17,000千円	観光振興課		
709	潜戸観光遊覧船更新事業【再掲】	(一社)加賀潜戸遊覧船が所有する船2艘の老朽化が進行し、新しいものでも30年が経過している状況にある。遊覧船更新により観覧受入環境を整え、ジオパークの推進に繋げる。	観光部				●	●					●		●		●		○	令和6年4月より発効した国土交通省の安全基準を踏まえた仕様により、遊覧船を入札し、造船業者を決定した。	令和6年度で事業終了	38,600千円	—	—	観光施設課		
710	潜戸観光遊覧船運営費補助金【再掲】	島根半島東部地域の景勝地である加賀潜戸を周近で観覧できる遊覧船の運行管理体制を整えることで、観光事業の振興発展を図る。	観光部	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●			●		○	・毎月計画通り補助金の支払を行っている。	近年の物価変動分を考慮し補助金を検討する	7,500千円	近年の物価変動分や運営事業者の収支状況をを考慮し、適切に補助金を交付する。	7,500千円	観光施設課		
711	チェリーロード管理運営	市道チェリーロード線沿いの桜並木の維持管理を行う。桜並木の施肥、消毒、下草刈を行う。桜開花時期に交通誘導、ライトアップ、看板の設置及び撤去を行う。	観光部	●	●	●	●	●	●	●	●		●						○	管理運営を実施している。	チェリーロードの良好な環境を維持するため、引き続き草刈等の必要な管理を行う。	1,592千円	チェリーロードの良好な環境を維持するため、引き続き草刈等の必要な管理を行う。	1,881千円	観光施設課		
712	古浦海水浴場管理運営	恵曇漁港古浦海岸の維持管理を行うもの。	観光部	●	●	●	●	●	●	●	●		●						○	・古浦海水浴場バスハウスの清掃管理業務を実施している。(年間) ・古浦海岸砂撤去を実施した。(6月) ・古浦海水浴場の海浜清掃、公園緑地の草刈を実施した。(7月)	古浦海岸の維持管理のための必要な修繕やトイレ等の清掃、草刈等の環境整備を引き続き実施する。	2,723千円	・古浦海水浴場バスハウスの清掃管理業務を実施している。(年間) ・古浦海岸砂撤去を実施した。(6月) ・古浦海水浴場の海浜清掃、公園緑地の草刈を実施する。(7月)	2,723千円	観光施設課		
713	自然公園維持管理	宍道湖北山県立自然公園内施設及び大山隠岐国立公園内施設の維持管理を行うもの。	観光部	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●					○	管理運営を実施している。	必要な修繕や委託を引き続き実施し、自然公園内施設の維持管理を行う。	11,268千円	必要な修繕や委託を引き続き実施し、自然公園内施設の維持管理を行う。	14,208千円	観光施設課		
714	SNS等による情報発信推進事業【再掲】	多種多様な伝統文化芸術を誰もが興味を持てるように、文化・スポーツ関係イベントを約1分程度のニュース動画にわかりやすくまとめ、年間を通じてYouTubeやSNS等で発信する。	文化スポーツ部				●	●						●					○	3月末までに9本の動画を制作し、YouTubeに掲載した。それぞれの動画について今年度は、若者をターゲットにしたYouTube広告を出すことにより、これまで本市の伝統文化芸術に関心が薄かった若者世代に情報を伝えるができ、視聴回数的大幅な増加につながった。 【平均視聴回数(3月末時点)】 令和6年度制作動画・・・13,686回	令和5、6年度にさまざまな分野の文化イベント動画を制作した。これらを、より多くの方に見ていただき、松江の伝統文化芸術を知っていただくため、既存動画の周知を行う。	2,452千円	—	—	文化振興課		
715	松江の文化力次世代育成・継承事業【再掲】	子どもとその保護者などに、松江の伝統文化芸術を知る、体験するなどの機会を継続して提供するとともに、地域の伝統行事に携わる団体を支援することで、七つの柱の共通課題である次世代育成や伝統文化芸術の継承を図る。	文化スポーツ部	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●		○	【松江の文化力体験推進事業】 日本旅行Tis松江が運営し、予定した14講座すべてが完了した。参加者目標値もクリアし、興味関心の高さを感じた。 【地域に根づく伝統文化継承事業補助金】 申請件数: 1件 途中公民館の連絡会で周知する等取り組んだ。	・引き続き、子どもと保護者をメインターゲットとして市民に松江の文化力を知り、楽しみながら体験する機会を提供することで、松江の文化力への関心を高め、郷土愛の醸成を育み、担い手の確保や地域の伝統文化の継承を図る。 ・地域に根づく伝統行事の保存・継承の取り組みを支援し、伝統行事の継承を図る。	4,763千円	【松江の文化力体験推進事業】 日本旅行Tis松江が運営し、9月以降7つの体験教室を予定している。 【地域に根づく伝統文化継承事業補助金】 申請件数: 0件 ※7月に1件申請予定。 引き続き事業の周知を行い、地域に根づく伝統行事の保存・継承の取り組みを支援する。	2,500千円	文化振興課		
716	文化力を生かしたまちづくり推進事業【再掲】	「松江の文化力を生かしたまちづくり条例」に基づき策定する計画や設置する審議会により、毎年事業をローリングしながら、文化芸術振興事業を推進する。	文化スポーツ部	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●					○	【審議会】 第1回審議会:9月26日開催 第2回審議会:3月26日開催 【松江の文化力を生かしたまちづくりに関するアンケート】 7月29日～8月31日実施 【松江市伝統文化芸術振興計画 第2期実施計画】 R7.3月策定	引き続き文化芸術振興事業の進捗管理を行うとともに、「文化力を生かしたまちづくり条例」や「松江市伝統文化芸術振興計画」の認知向上を図る。	223千円	引き続き文化芸術振興事業の進捗管理を行うとともに、「文化力を生かしたまちづくり条例」や「松江市伝統文化芸術振興計画」の認知向上を図る。	623千円	文化振興課		

No	事業名	事業概要	担当部局	事業年度										六つの取組の視点						進捗状況		実績	分析	決算額	実施状況、今後の方針	当初予算	担当課
				第1期					第2期					知る	育てる	伝える	創造する	活用する	支える	予定どおり進捗した	予定どおり進捗しなかった						
				R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10																
717	椿文化観光振興事業	松江市の市花である「椿」の開花時期(3月から)に合わせ、松江城にて「松江椿まつり」を開催する。	文化スポーツ部	●	●	●	●	●	●	●	●	●								○	■椿まつりの開催見送りを決定 ・椿の手配、当日の運営補助などを担う予定であった山陰カメラクラブの組織体制の事情から、まつりの運営が困難であると判断した。	・当面、従来開催していた「松江椿まつり」の開催を見送る。 ・松江及び島根の希少な椿の種の保存を優先的に実施する。	210千円	■「松江椿まつり」は開催を見送る。 ■フオーゲルパーク内に植樹した椿の維持管理を行う。	227千円	文化振興課	
718	ジオパーク推進事業【再掲】	地域の貴重な地質遺産や多様な生態系、伝統文化を次世代に守り、伝える活動を通じて、ふるさとの誇りや愛着を高め、人材育成を促進するとともに、観光や産業などの地域振興に繋げる。	文化スポーツ部	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			○	こども向けの体験イベントや、定時ガイドによるツアーや清掃活動等、様々な活動により目標値に近い入込客数があった。	研修会やツアー、イベント等幅広い世代の方に興味をもってもらえるような事業を計画する。	10,935千円	8月からジオパークに関するツアーや子ども向けイベントを実施予定であり、入込客数を増加するため、積極的に広報を行い着実に業務を進めていきたい。	11,492千円	ジオパーク推進室	
719	わがまち自慢発掘プロジェクト事業【再掲】	公民館区毎に作成した地域の“お宝”を記載した「まち歩きマップ」を、地域活動に活用できるように、残数が少ない地区のマップを更新・増刷する。また、マップを活用したまち歩きを開催する。	文化スポーツ部	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		○	R6年度は、3地区で「まち歩きマップ」の増刷に係る補助を実施した。 また、5地区で「歴史のまち歩き」を開催し、応募者総数242名、参加者総数103名であった。	・市内の各公民館の要望調査に応じて「まち歩きマップ」の増刷補助および「歴史のまち歩き」の実施を検討する。 ・幅広い年代の参加につながる企画を考え、新規参加者を獲得する。 ・公民館と連携し各地域主体のまち歩きへの移行を支援する。	1,023千円	3地区で「まち歩きマップの増刷」「まち歩き案内版の修繕」に係る補助を実施中。 また、7地区で「歴史のまち歩き」を開催予定。7回のうち、6月末までに5回を終了した。	1,104千円	文化財課		
720	伝統的建造物群保存地区検討事業【再掲】	美保関町美保関の美保神社周辺に残る歴史的なまちなみの保存・活用を通して、生活環境や景観の向上を図り、生活や生業、伝統行事等を後世へ継承する。	文化スポーツ部	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		○	・4月 調査報告書配布(地元住民、美保関支所、関係団体等) ●住民組織「美保関まちなみ研究会」 ・5/12、6/17、7/29、11/6、3/12 ●勉強会「美保関まちなみ塾」 ・5/12、6/9、7/21 ●「mihonoseki伝建だより」 ・5月、6月、8月、10月、1月発行 ●住民先進地視察 ・6月:岡山県津山市、9月呉・竹原市 ●7/10～7/12文化庁主催「伝統的建造物群保護行政研修会(基礎コース)」参加 長崎県開催 ●庁内連携 ・5/27～5/31:各会派説明(事業概要と今後の展開) ・6/26 主管課長会で概要説明 ●住民説明会:8月、10月、11月 ●保存条例制定:12月 ●保存審議会:2月 ●文化庁協議:随時	・保存活用計画案作成 ・伝建選定に向けた文化庁協議 ・住民説明 ・技術者勉強会 ・観光ガイド育成講座の開催 ・技術者向け説明会	1,078千円	●おかえりカフェ・住宅よろず相談会(4/18、6/20) ●美保関中学校ふるさと学習(4/24、4/28、5/12、5/22、6/16、7/10) ●住民説明会5/19(屋外広告物条例改正) ●同志社大学調査(5/17) ●文化庁研修への参加(茨城県桜川市・5/28～30) ●まちなみ研究会(6/19、7/23) ●美保関まちなみガイド養成講座(6/14、7/5) ●文化庁協議(6/19) ●島根大学観光演習レクチャー(6/21) ●保存審議会 7/15 ●技術者育成講座の開催(7/16) ●松江市文化財保護審議会報告(7/29)	2,232千円	文化財課		
721	賢明な利用推進事業	ラムサール条約の目的のひとつである「賢明な利用(ワイスユース)」を市民・事業者・行政が一体となって推進するため、庁内の関係各課との連携や、全国のラムサール条約登録湿地市町村と情報交換などを図る。	環境エネルギー部	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		○	・ラムサール条約登録湿地関係市町村会議出席(2年に1回参加のため令和6年度は参加なし) ・中海・穴道湖一斉清掃のごみ収集(中海側) ・中海北部承水路に関する水質調査報告書作成	・引続き、継続的に事業を実施し推進する。また、ラムサール条約登録20年の記念行事の開催についても、松江市をはじめとする周辺自治体で協働し、進めていく。	493千円	・ラムサール条約登録湿地関係市町村会議(11月6日、7日予定) ・中海・穴道湖一斉清掃のごみ収集(中海側) ・中海北部承水路に関する水質調査報告書作成	572千円	環境エネルギー課		
722	穴道湖水環境改善協議会負担金	国土交通省出雲河川事務所、島根県、松江市、出雲市が連携し、「中海・穴道湖一斉清掃」、「手長エビ採り体験」、「親子で学ぶ穴道湖での水遊び体験」、「穴道湖絵画コンクール」、「わたらの里森で学ぶ、遊ぶ」、「ヨシ刈り取り事業」といった取り組みを実施し、穴道湖の総合的な水環境の改善に努める。	環境エネルギー部	●	●	●	●	●	●	●	●		●		●		●		○	【中海・穴道湖一斉清掃】 実施日 令和6年6月9日(日) 参加人数 穴道湖 2,020名(全体 4,606名) 【さくらおうち湖環境美化活動】 実施日 R6年7月12日(金) 【手長エビ採り体験】 中止(悪天候及び潮位が高くエビ採りの足場確保困難のため) 【親子で楽しむ穴道湖での水遊び体験】 実施日 R6年8月2日(金) 参加人数 26名 【穴道湖絵画コンクール】 募集期間(R6年7月中旬～9月27日(金)) 応募作品 75作品(うち入賞10作品) 表彰式 R6年11月10日(日) 【わたらの里 森で学ぶ、遊ぶ】 【わたらの里 森で学ぶ、遊ぶ】 中止(雨天の予報となっていたこと及び降水確率が高く見込まれていたため) 【ヨシ刈り取りボランティア】 実施日 R7年3月14日(金)、15日(土) 参加人数 279名 【ヨシ紙の活用】 新たに和紙を敬老祝い品の包装紙などとして活用	・穴道湖絵画コンクールの応募数が減少傾向にあったため、令和6年度は、これまでで小学4年生～6年生の対象を、全学年に見直した。 ・引続き新たなヨシ紙(和紙)の活用方法を検討。	2,002千円	【中海・穴道湖一斉清掃】 実施日 令和7年6月8日(日) 参加人数 穴道湖 2,337名(全体 5,058名) 【さくらおうち湖環境美化活動】 実施日 R7年7月11日(金) 【手長エビ採り体験】 実施日 R7年7月18日(金) 参加人数 75名 【親子で楽しむ穴道湖での水遊び体験】 実施日 R7年8月1日(金) 参加予定人数 60名 【穴道湖絵画コンクール】 募集期間(R7年7月中旬～9月26日(金)) 表彰式 R7年11月8日(土)予定 【わたらの里 森で学ぶ、遊ぶ】 実施日 R7年10月18日(土) 参加予定人数 40名 【ヨシ刈り取りボランティア】 実施予定日 R7年3月中旬 参加予定人数 280名 【ヨシ紙の活用】 和紙を敬老祝い品の包装紙などとして活用	2,002千円	環境エネルギー課		
723	海岸漂着ごみ等処理事業	自治会等で行われるボランティア清掃により集められた海岸漂着ごみの収集、運搬、処理を行うことにより地域の環境保全の推進を図る。	環境エネルギー部	●	●	●	●	●	●	●	●		●						○	【海岸漂着ゴミ等処理事業】 ボランティア回数 188回 回収量 39.58t 回収に係る燃料代 73,511円	【海岸漂着ゴミ等処理事業】 地域ボランティア及び海岸管理者と連携し、海岸線の保全に努める。	4,347千円	【海岸漂着ゴミ等処理事業】 ボランティア回数 62回 回収量 16.39t 回収に係る燃料代 14,628円 【今後の方針】 引き続き地域ボランティア及び海岸管理者と連携し、海岸線の保全に努める。	6,188千円	リサイクル都市推進課		
724	伝統美観保存区域等整備事業	松江市伝統美観保存区域等修景事業費補助金交付要綱に基づき、補助対象区域内における伝統的様式の建築物等の新築、改築に対し補助金を交付するもの。	まちづくり部	●	●	●	●	●	●	●	●		●		●		●		○	伝統美観保存区域(塩見縄手地区)において、建築物の改修予定が1件あったが、改修内容の変更により補助金交付対象外となり、令和6年度の補助金交付実績は0件となった。	昔ながらの街並み保存について、住民に理解を深めてもらえるようPRの方法を検討していく。	0千円	伝統美観保存区域(内中原町景観形成区域)において、工作物1件の改修補助を予定。	1,117千円	建築審査課		
725	屋外広告物許可事務事業	市民の安全や良好な景観を守るため、松江市屋外広告物条例に基づいた屋外広告物の許可事務を行う。また、違反広告物対策として是正指導及び簡易除却を行い、屋外広告物の適正化を図る。	まちづくり部	●	●	●	●	●	●	●	●		●						○	・令和6年4月1日から令和7年3月31日までの屋外広告物の許可件数および簡易除却数は下記のとおり。 ・新規許可件数:550件 ・更新許可件数:1799件 ・簡易除却数:0件	未申請広告物の申請勧奨とともに基準不適合広告物の是正指導を進める必要がある。	644千円	・令和7年4月1日から令和7年6月30日までの屋外広告物の許可件数および簡易除却数は下記のとおり。 ・新規許可件数:141件 ・更新許可件数:159件 ・簡易除却数:0件	834千円	建築審査課		

No	事業名	事業概要	担当部局	事業年度										六つの取組の視点					進捗状況		実績	分析	決算額	実施状況、今後の方針	当初予算	担当課	
				第1期					第2期					知る	育てる	伝える	創造する	活用する	支える	予定どおり進捗した							予定どおり進捗しなかった
				R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10																
726	景観計画促進整備事業	良好な景観形成に関する施策が特に必要と認められる区域を景観計画重点区域に指定する。景観法に基づく行為届出書(又は通知書)について、建築物・工作物等が景観計画に適合しているか確認を行う。必要に応じて、各種団体の代表や専門家等で構成される松江市景観審議会を開催し、良好な景観形成を推進する。	まちづくり部	●	●	●	●	●	●	●			●					○	令和6年4月1日から令和7年3月31日までの景観計画区域内における行為(変更)届出書及び通知書の件数は下記のとおり。 ・届出書:107件 ・通知書:13件	令和7年1月から景観事前協議制度の導入を予定しており、事前協議により良好な景観形成の推進を図る。	757千円	令和7年4月1日から令和7年6月30日までの景観計画区域内における行為(変更)届出書及び通知書の件数は下記のとおり。 ・届出書:22件 ・通知書:4件	717千円	建築審査課			
727	水辺の利活用促進事業	官民協働によるミズベリング松江協議会の運営及び構成団体の水辺利活用促進やミズベリング緑日など水辺でのイベントのほか利活用促進のための社会実験などを行う。	都市整備部	●	●	●	●	●	●	●	●					●		○	中心市街地の穴道湖や大橋川沿いの水辺において、民間による利活用が活発に行われている。 令和6年9月30日に岸公園・白湯公園の河川空間がオープン化されたため、民間事業者の活用が進むと思われる。	河川空間のオープン化を周知することで、更なる民間による利活用を図っていく。	3,249千円	中心市街地の穴道湖や大橋川沿いの水辺において、民間による利活用が活発に行われている。一部、河川空間のオープン化がされたため、それを周知することで、更なる民間による利活用を図っていく。	800千円	大橋川治水・国県事業推進課			
728	河川浄化事業	堀川周辺水域に繁茂する水草・藻類の除去作業に加え、河川愛護団を中心とした市内河川の堤防除草等河川環境保全業務を行う。なお、市内県管理河川においては、島根県との協働により浄化事業を実施する。	都市整備部	●	●	●		●	●	●	●		●					○	・5月27日に松江堀川藻刈り業務委託契約を締結し、堀川周辺水域に繁茂する水草・藻類の除去作業を実施。併せて直営による除去作業を実施。 【R6水草・藻類処分量:62t】 ・6月19日に「松江堀川における水草・藻類と育成環境のモニタリング及び繁茂抑制対策の検討」・「松江堀川における流況操作による水草・藻類の繁茂抑制対策の検討」に係る業務委託契約を締結し、島根大学による研究を実施(継続中) ・河川愛護団による市内河川堤防除草作業を実施。 【R6実施団体:160団体】	・堀川周辺水域に繁茂する水草・藻類の除去作業を継続的に実施していく。 ・水草・藻類の繁茂抑制について、引き続き島根大学との協働研究を進めていく。併せて、過去からの調査研究結果を基に有効な抑制手段について検討・実施していく。 ・河川愛護団による市内河川の堤防除草作業を継続的に実施しつつ、未登録団体の新規加入に向け広く愛護団制度を周知していく。	48,370千円	実施状況 ・5月27日に松江堀川藻刈り業務委託契約を締結し、堀川周辺水域に繁茂する水草・藻類の除去作業を実施(継続中)。併せて直営による除去作業を随時実施。 ・河川愛護団による市内河川堤防除草作業を実施。 今後の方針 ・堀川周辺水域に繁茂する水草・藻類の除去作業を継続的に実施していく。 ・河川愛護団による市内河川の堤防除草作業を継続的に実施するとともに、新規団体加入に向け河川愛護団制度を周知していく。	47,747千円	河川課			
729	堀川美化事業	堀川遊覧等で集客力のある「堀川」及び「堀川への流入河川・排水路」について、美化清掃を行うとともに周辺環境を整備するもの。	都市整備部	●	●	●	●	●	●	●			●					○	・堀川及び流入水域において直営による巡視を行ない、漂流物の回収及び植栽管理・除草作業を実施(継続中)。 ・電動船外機を動力とする作業船を1隻追加購入し、堀川水域の清掃体制を強化した。	・堀川及び流入水域における美化清掃、環境整備を継続的に実施していく。	13,495千円	実施状況 ・堀川及び流入水域において直営による巡視を行ない、漂流物の回収及び植栽管理・除草作業を実施(継続中)。 今後の方針 ・堀川及び流入水域における美化清掃、環境整備を継続的に実施していく。	15,911千円	河川課			
730	岸公園環境整備事業	岸公園の賑わいを創出するため、キッチンカーによる飲食の提供がしやすいよう出店エリアを整備する。	都市整備部		●	●	●							●				○	観光振興課、道・緑・水辺相談室と連携して準備を行っている。	(キッチンカーエリア)出店者の公募開始予定(出店エリア)出店者の公募準備	—	2期計画から「松江湖畔公園再整備事業」(付番なし)に統合	—	公園緑地課			
731	川から海へ大航海in鹿島実行委員会補助金	鹿島町でそれぞれ行われてきた地域・世代間の交流を深め、自然環境を大切にする地域行事「いかだ下り」や「郷土学習」の事業を同時開催する実行委員会に助成を行う。	市民部	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●	●			○	令和6年7月21日(日)実施 ・当日は鹿島町内3小学校の4年生や地域の方を中心とした実行委員など延べ200人が参加	例年通り開催予定。	200千円	令和7年7月20日(日)実施 ・当日は鹿島町内3小学校(佐太小学校・恵曇小学校・鹿島東小学校)の4年生や地域の方を中心とした実行委員など延べ200人が参加	200千円	鹿島支所			
732	ぼたん祭事業	実行委員会を組織し、松江市の特産であり、市花・県花である「大根島ぼたん」をテーマとする「松江市大根島ぼたん祭」を開催するもの。	市民部		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			○	・県花、市花である「牡丹」のPRのため、ステージイベントを4月21日(日)及び4月27日(土)に八束支所中庭で開催。2日合計約8,400人の来場があった。当日は、協賛イベントやコラボイベントの開催により、各方面からの来場があった。	八束の牡丹の生産力向上と販路拡充を図り、特産振興及び市内外からの観光客の誘客につながるよう、引き続き支援する。	3,742千円	・県花、市花である「牡丹」のPRのため、ステージイベントを4月26日(土)27日(日)に八束支所中庭で開催。2日合計約9,200人の来場があった。当日は、華道連盟による展示や協賛イベントなどの開催により、各方面からの来場があった。今後も観光客の誘客につながるよう、支援する。	3,555千円	八束支所			
733	ふるさと教育推進事業【再掲】	地域住民の学校教育への参画や、自主的な学習活動、社会参加活動促進等、学校と家庭、地域が一体となった体系的な教育活動を推進することを目的とし、学社連携・融合による「ふるさと教育」を市内各小・中・義務教育学校で実施する。	教育委員会	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●				○	・令和6年7月31日、各学園(中学校区)、各学校へ交付金の配布完了。令和6年度市内全小・中・義務教育学校において事業実施。	各活動のねらいや学園(中学校校区)ごとの系統性、質の向上を図ること等について、再確認していく。	4,030千円	・令和7年8月1日、各学園(中学校区)、各学校へ交付金の配布予定。昨年度、再確認した各活動のねらいや学園(中学校校区)ごとの系統性をともに、市内全小・中・義務教育学校において実施予定。	4,030千円	学校教育課			
734	「ふるさと松江」学習推進事業【再掲】	小学校3・4年生の社会科で行うことになっている地域学習において活用する副読本「わたしたちの松江」のデータ化を行い、児童がタブレットを活用して見ることができるようにする。そこにリンク先を添付することで学びを広げたり、音や映像で学びを深めたりする。	教育委員会	●	●	●	●					●	●					○	各校の教育課程に従って、順調に活用されている。	リンク先を添付したり、音や映像を流したりするための時間や予算の確保が必要。	66千円	—	—	学校教育課			
735	総合的・体験的な学習充実事業【再掲】	「ふるさと松江」の生活・産業、自然環境や歴史文化について、体験を通して総合的に学ぶ学習を充実することで、「ふるさと松江」に誇りと愛着をもつ人材を育成する。そのために、各小・中・義務教育学校で校区や地域の特色を活かした総合的・体験的な学習を実施する。	教育委員会	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●				○	各校の計画に沿って、順調に実施されている。	物価高騰による消耗品等が今後も値上がりする可能性がある。保護者負担への対応を検討する必要がある。	1,621千円	各校の計画に沿って、順調に実施されている。	1,621千円	学校教育課			

No	事業名	事業概要	担当部局	事業年度										六つの取組の視点					進捗状況		実績	分析	決算額	実施状況、今後の方針	当初予算	担当課
				第1期					第2期										予定どおり 進捗した	予定どおり 進捗しなかった						
				R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	知る	育てる	伝える	創造する	活用する	支える									
736	まちのRe-project事業【再掲】	遊休不動産活用による面的な活性化を目指すエリアリノベーションに関する実践講座の開催や、遊休不動産活用・実事業化の提案と実践のための短期集中型合宿である「リノベーションスクール」の開催、遊休不動産実態調査などを行う。	都市整備部	●	●	●	●	●	●	●			●	●		●		○		・遊休不動産の掘り起こしと不動産オーナーへの協力依頼(実績3/57件) ・SNSを活用した情報発信 ・リノベーションまちづくりガイドライン等を活用した普及啓発(8件258部配布) ・都市再生推進法人の指定および業務連携	・遊休不動産所有者への協力依頼が、実際に遊休不動産の利活用につながってきている。 ・引き続き、ガイドラインやSNSを活用し、リノベーションまちづくりの普及啓発および情報発信を行う。	5千円	・4～6月 遊休不動産調査(橋北地区中心市街地の一部)[済] ・4～7月 都市再生推進法人ヒアリング(R6報告・R7計画) ・4月～翌3月 遊休不動産調査・オーナーへの協力依頼・SNS発信 ・リノベーションまちづくりを推進するため、遊休不動産の所有者に対して当事業の情報提供・空き家空き店舗利活用意向調査を行うことで、新たな遊休不動産の掘り起こしを行い利活用につなげる。 ・また、リノベーションまちづくりガイドラインを活用した普及啓発に取り組むとともに、SNSや動画を活用した情報発信を強化する。 ・さらに、R5年度より都市再生推進法人の指定を開始し、官民連携でのまちなか再生を推進する。	72千円	都市政策課まちづくり推進室	